

東大阪市域の環境対策等の強化に向けた連携協定について

- 東大阪市、近鉄バスおよび関西電力は、東大阪市域の環境対策等の強化に向けた連携協定を締結しました。
- 主な検討内容は以下の通りです。
 - ① 電気バスの普及拡大や公用車の電動化など交通分野の環境対策において連携
(災害時には電気バスを電源として活用するなど、防災面での地域社会への貢献も同時に検討)
 - ② 公共施設の新築・設備更新時の省エネ性能向上やエネルギーの最適運用のサポート、公共施設への太陽光発電・蓄電池の設置等の検討

環境対策等の強化に向けた連携

モノづくり・ラグビーのまち



近鉄バス株式会社



関西電力

power with heart

モビリティ分野

快適性

環境性

防災



電気バスを導入

順次拡大



避難エリアでのラジオや携帯の充電

電気バスの拡大および電気バスを活用した災害対応の検討

エネルギー分野

設備の省エネ性能向上・最適運用サポート



公共施設の新築



設備更新

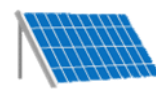
サポート



関西電力

power with heart

再生エネルギー等の拡大



太陽光



蓄電池

設置拡大

庁舎

避難所

学校

etc.

省エネ性能向上等のサポートや太陽光等の設置拡大を検討